なみのね動作帖 ～アビイちゃんの重さ問題～

朝 5 時。
世界がまだ寝ぼけている時間に、なみのね家では毎朝恒例のセレモニーが始まる。

「ドスン！」

胸の上に、突然の地震のような衝撃。
目を開けると、そこには金髪王子・アビイちゃん。
4 本足でしっかりと仁王立ち、誇らしげな顔でこちらを見下ろしている。

「おはよう！起きる時間だよ！」
いや、まだアラームも鳴ってないのに……。

アビイちゃん、体重は 3kg ちょっと。
数字だけ聞けば軽やかな猫のはずなのに、なぜか胸の上では 3 トン級の存在感。
足の一本一本がピンポイントでツボを突くように、ずしり、ぐいっと体重がかかる。
“愛情の圧”ってこういうことを言うのかもしれない。

さて、同じ家のもう一人の被害者――いや、被体験者――ビオラちゃんの場合。

事件はあの日だった。
クロワッサン🥐を咥えたアビイちゃんが、馬乗りに！
ビオラちゃん、ヘソ天のまま固まる。
心なしか目が言っていた。

「……重っ。」

でも文句は言わない。
猫同士のルールなのか、我慢の境地なのか、ただただ無の表情で耐えるビオラちゃん。
その姿はまるで修行僧。

こうして二人と一人は、日々アビイちゃんの重力愛を全身で受け止めながら暮らしている。
朝の胸の重みは、確かに目覚ましより効く。
そして、ビオラちゃんの無言の悟り顔を見るたびに思うのだ。

「やっぱり、アビイちゃんって“金髪王子”というより、

“重量級の愛を届ける天使”かもしれない。」

📝 本日の名言
「愛は重さで伝わる。特に猫は。」